

1. 等高線チェック

メニュー[チェック]-[等高線チェック]で、分類コードが 7101 から 7108 以外の等高線についてもチェックできるようにしました。

等高線チェック

インデクスファイル(等高線の分類コードを参照)

選択

チェック項目(1)

- 異なる標高値を持つ等高線
- 標高値に端数がある計曲線・主曲線
- 等高線の種類に対する等高線の間隔
- 標高値が0.0の等高線
- 標高値が-999.0以下の等高線
- 範囲外の標高値
- 最高標高値 4000.0 m以上
- 最低標高値 -1.0 m以下
- 等高線の分岐
- 等高線の端点間の隙間
- 隙間の最小値(m) 0.0
- 隙間の最大値(m) 1.0
- 相手の等高線と接続する
- 水平方向の角度
- 角度 45.0度以下
- 間断区分が異なる隣接
- 他の要素と交わらない隠線
- 注記との交差は対象外
- 閉じている場合は対象外
- 点列の順序(TIN参照)
- 点列の順序を反転する
- 標高値(隣接関係でTIN参照)

チェック項目(2)

- 他の3D要素との重複
- 間断区分=1の等高線は対象外
- 端点と等高線以外の要素との隙間
- 隙間の最小値 0.01 m
- 隙間の最大値 0.1 m
- 図郭線も対象にする
- 等高線が通るべきところ
- 等高線以外の3次元の面と線
- 分類コードで指定 選択...
- 等高線とのずれ許容値(m) 0.1 m
- 真価道路で切れている等高線
- リストアップの...
- 等高線(間断区分=1)作成
- 等高線の最大長(m) 5.0

処理項目

- 等高線を同一XYZ座標の端点で接続する

オプション

- ファイル別に並べ替えてリスト表示
- レポートパネル出力

OKリストCSV 指定...

OK キャンセル 設定を保存 設定を開く

インデックスファイル(等高線の分類コードを参照)

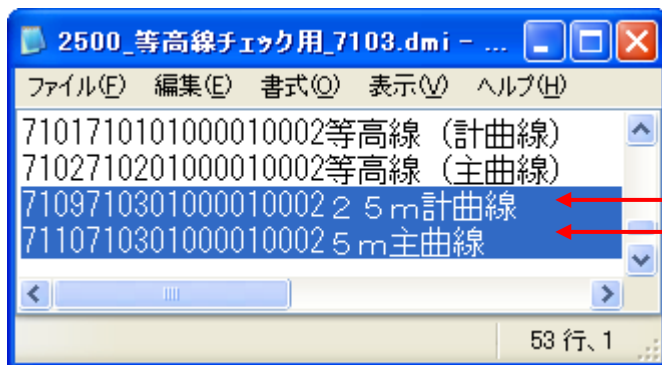
等高線の分類コードが 7101 から 7108 以外にも定義されている場合、その分類コードの線(E2)を等高線としてチェックするための指定です。等高線の分類コードが 7101 から 7108 のみの場合、空白にしておきます。

7101 から 7108 以外の分類コードの線を等高線としてチェックしたい場合、対応関係を指定する検査用のインデックスファイルを作ってください。例えば、分類コードが 7109 の線(E2)を「補助曲線」としてチェックしたい場合

使用分類コード = 7109

標準の分類コード = 7103

としておきます。



上図の例では、地図情報レベル 2500 の DM ファイルについて、7109 が 25m 間隔、7110 が 5m 間隔の等高線として付加されていて、これらを 1m 間隔の補助曲線としてチェックします。

「標準の分類コード」が 7101 から 7108 の間に指定された分類コードの線(E2)を等高線としてチェックします。